

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から (新しく受け入れた資料の紹介)

『「やさしい日本語」で観光客を迎えよう —インバウンドの新しい風』

加藤好崇編著／大修館書店発行／2019年8月／
四六判／176ページ／1,500円＋税

海外在住の日本語学習者は約365万人、また日本国内の在留外国人は約273万人いるといわれている。日本人ほど上手ではないにせよ、ある程度の日本語が話せる外国人、英語より日本語の方が得意な外国人、あるいは日本語によるコミュニケーションを望んでいる外国人は意外に多い。外国人には英語で話さなければ、という思い込みから自由になって、外国人向けに調整された「やさしい日本語」でもてなそうというのが本書の趣旨である。著者は日本語教育を専門とする加藤氏(東海大学)で、観光の文脈における「やさしい日本語」の解説、自治体や旅館、店舗、Webマガジンなど先進的な実践例の報告が行われている。

目次：「やさしい日本語」の作り方と使い方 — 「やさしい日本語」で話してみよう、「やさしい日本語」って何だろう？、観光における「やさしい日本語」の使い方、「やさしい日本語」の文化調整：旅館のやさしい環境づくり／「やさしい日本語」の実践 — 旅館編、飲食店・和菓子店編、地方行政編、Webマガジン編、地域住民の活動編／ほか 原 □

『QRコードの奇跡

—モノづくり集団の発想転換が革新を生んだ』

小川進著／東洋経済新報社発行／2020年2月／
四六判／236ページ／1,800円＋税

本書は、QRコードの源流の歴史、開発、標準化、進化の各過程において、異なる人物がどのような活動をしたのかということに焦点を合わせて、経営学者(神戸大学大学院教授)がまとめたものである。QRコードの源流であるバーコードは、トヨタ生産システムの「かんばん」の情報を電子化したものであるが、かんばん方式に必要な情報量を適切に管理するのが難しくなり、多くの情報量を高速かつ正確に読み取るために二次元コードシステムであるQRコードの開発が行われた。その後QRコードは、オープンソース化され、国際標準化が進み、通信、交通、決済といったインフラにおいて、現在重要な役割を担っている。

目次：源流 — アナログかんばんから電子かんばんへ／開発 — 思索から実践へ／標準化 — 国内単一業界から国際多業界へ／進化 — 企業ユーザーだけでなく消費者も／QRコードを通じて経営を考える — 革新の神の宿るところ 古森 □

新着情報 (2020年7月分)

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和書>

- 1 高齢化社会における家族構成の変化と交通手段の適切な関係 鹿島茂 日本交通政策研究会 2020年3月
- 2 企業経営の物流戦略研究〔第3版〕 丹下博文 中央経済社 2020年6月
- 3 ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスの実施条件に関する研究 岩尾詠一郎、大門創、ほか 日本交通政策研究会 2020年3月
- 4 これからの海外都市鉄道 海外鉄道技術協力協会 ぎょうせい 2020年3月
- 5 新興国・途上国の都市公共交通の計画論に関する研究 中村文彦、三浦詩乃 日本交通政策研

- 研究会 2020年3月
- 6 逆都市化と鉄道 関西鉄道協会都市交通研究所同協会 2020年3月
 - 7 過疎地交通の新展開と地域コミュニティへのインパクト 青木亮, 大島登志彦, ほか 日本交通政策研究会 2020年3月
 - 8 都市圏総合交通政策の研究——地域・都市の活性化と交通整備・運営 朝田康禎, 大井尚司, ほか 日本交通政策研究会 2020年3月
 - 9 不完全競争を考慮したSCGEモデルの開発 武藤慎一 日本交通政策研究会 2020年3月
 - 10 新しい道路交通システム・施策導入時の社会的受容性 谷口綾子, 井料美帆, ほか 日本交通政策研究会 2020年3月
 - 11 これからの道路交通政策——運輸管理から考える 高田邦道, 荒牧英城, ほか 日本交通政策研究会 2020年2月
 - 12 世界と日本のロードプライシング〔シンポジウム〕 根本敏則, 野口直志, ほか 日本交通政策研究会 2020年3月
 - 13 飛行機ダイヤのしくみ〔改訂版〕 杉江弘 交通研究協会, 成山堂書店(発売) 2020年6月
- <外国書>
- 14 Statistical Yearbook of Ministry of Land, Infrastructure and Transport (韓国国土交通統計年報) 2019 Policy Planning Bureau 編 Ministry of Land, Infrastructure and Transport Director General for Policy Planning 2020年2月
 - 15 The Geography of Transport Systems [第5版] Jean-Paul Rodrigue Routledge 2020年
 - 16 中国鉄道年鑑 2018 中国国家鉄路集团有限公司編 同社 2019年8月
 - 17 Die Deutsche Eisenbahn——Die Geschichte des deutschen Schienenverkehrs von 1835 bis heute Carl Asmus Transpress Verlag 2020年
 - 18 The Bus Demand Jigsaw 2020 Chris Cheek 編 Passenger Transport Intelligence Services 2020年
 - 19 Bus Transport——Demand, Economics, Contracting, and Policy David A. Hensher Elsevier 2020年

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『東亜交通論集(1)——東亜交通学会研究報告』 東亜交通学会編/同発行/1942年

本書は、来年(2021年)に設立80年を迎える日本交通学会の前身である財団法人東亜交通学会が刊行した論文集である。

内容は、1942年の同学会設立直後に開催された第1回研究報告会(当時は研究発表会)での報告を中心にまとめられている。交通政策、陸運統制、海運統制、運賃政策、大東亜共栄圏など11編からなり、筆者は、学界を中心に官界・産業界のメンバーも加わる。付録には「財団法人東亜交通学会設立の趣旨」や設立にかかわる記録が掲載されている。当時の交通界がおかれている状況がうかがえる。

なお、同学会は第2次世界大戦後、日本交通学会と改称し、法人格は運輸調査局(現・交通経済研究所)が引き継いだ。その関係で同書は、私どもの蔵書登録第1号である。 土方□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究を目的とされている方へ所蔵資料の一部を公開しています。利用方法の詳細につきましては、私どものホームページをご覧ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室
住 所：東京都台東区上野7-1-1
郵便番号：110-0005
電話番号：03-3841-4165
ファックス：03-3841-4859
URL：<https://www.itej.or.jp/>
最寄駅：JR/東京メトロ 上野駅から徒歩3分

【お願い】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として各種対応を行っています。来室のさいには、マスク着用および手指消毒にご協力をお願いします。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳